

フクト実力診断テスト

解答・解説集



ご注意

解答記入用紙には採点結果(○や×)を記入しないでください。
採点できないことがあります。



もくじ

◇模範解答と解説

国語	2～4ページ
数学	5～8ページ
英語	9～12ページ

問題番号		模範解答	配点	
一	[1]	問一 試行	2	
		問二	ア 使える	1
			イ がっち ◎	1
			ウ 保温性	1
		(1)	エ 安定	1
			オ どこに	1
		問三	(2) 特に、	1
			(3) [例] 巣をつくり直す方がずっと安全な巣になるはずだ ★	2
		問四 高度な構造物 ☆	2	
		問五 1 ◎	2	
	(2)	問一 ふきん ◎	1	
		問二 2	2	
		問三 1	2	
		問四 形容動(詞) ◎	2	
問五 3		2		
二	問一	ア レギユ ◎	1	
		イ すべて	1	
		ウ 似て	1	
	問二	(1) 踏ん	1	
		(2) 身	2	
	問三	オ なにも感	1	
		カ なにもで	1	
		(1) キ ところど ◎	1	
		Y [例] バレーを上手くなってチームの役に立ち ★	2	
		(2) 北村の瞳 ☆	2	

問題番号		模範解答	配点
三	問一	とう ◎	1
	問二	初め 帝、は } [両解]	2
		終わり く治む	
	問三	ア 弟 ◎	1
		イ 息	1
		ウ 心に適は	1
	問四	(1) 呼び返し	1
		(2) [例] 正直／素直 ☆	2
		(3) [例] 大切な存在だ ★	2
	四	問一	少ない ◎
問二		載っていました	2
問三		15(行め)	2
問四		13(行め) ◎	2
問五		[例] からです／ためです	2
問六		[例] 一か月に本を全く読まない人は約40%と最も多い ☆	2
問七		[例] 興味深い情報を与えてくれたり、読む人を感動させたり ★	2
60点満点			

〔マークの説明〕

- ◎ …… 基本事項の理解力を確かめる問題です。
- ☆ …… 総合的な読解力を確かめる問題です。
- ★ …… 「活用」型の問題で、県入試のねらいに沿った内容です。

※著作権の都合上、㊦〔1〕 説明的文章 ㊦ 文学的文章 の解説は省略しています。

㊦

〔2〕 語句などに関する問題

問二 「土台」は「ドダイ」と読むので、音読みと音読みです。選択肢1「相手（あいて）」で訓読みと訓読み，選択肢2「住居（ジュウキョ）」で音読みと音読み，選択肢3「海辺（うみべ）」で訓読みと訓読み，選択肢4「団子（ダンゴ）」で音読みと訓読みです。→選択肢2

問三 「複数」：選択肢1「複雑」，選択肢2「往復」，選択肢3「中腹」，選択肢4「服装」→選択肢1

問四 「簡単な」は形容動詞「簡単だ」の連体形です。

㊦ 古典

『正法眼蔵随聞記』

問一 歴史的仮名遣い「とふ（問ふ）」

→現代仮名遣い「とう」

問三 〔A〕「(国皇)『我、よく国を治む。賢なりや、否や』。～一人の臣あり、云はく、『帝、賢ならず』と。帝の云はく、『故如何』。臣が云はく、『国を治めて後、ア弟に与へずして、イ息に与ふ』と。帝、ウ心に適はずして、追ひ立てられ～」

問四 〔B〕「昔、ある国の皇帝が～『～私は賢明な君主であるのか、そうでないのか』と尋ねた。～一人の臣下が、『帝は賢明な君主とは言えません』と言った。～その臣下は、『国を統治なされた後で、(他国からお奪いになった土地を)ご自分の弟君にお与えにならないで、ご子息にお与えになりました』と言った。皇帝は気に入らなくて、(その臣下を)追ひ払われた後で、また、(別の)一人の臣下に向かって、『私には、仁があると言えるか、どうか』と尋ねた。その臣下は、『大いに仁がございます』と言った。～その臣下は、『仁のある君主には、必ず忠臣がございます。忠臣は、自分の信ずることを直言(=自分の思ったことを君主に(2)〔例〕正直に言うこと)いたします。以前いた臣は、まさに(皇帝に)直言したのです。彼はまさに忠臣なのです。仁のある君主でなければ、忠臣を召し抱えることはできません』と答えた。皇帝は、この言葉の意味に気づいて、すぐに以前の臣下を(1)呼び返しなされた。』…皇帝は臣下から、仁のある君主だからこそ忠臣を召し抱えることができると言われ、自分が追ひ払った臣下は(3)〔例〕必要な存在だと気づきました。

四 文章の推敲・批正

- 問一 「少ない」の送り仮名は「ない」が正しいので、5行めの「少い」を「少ない」に書き直します。
- 問二 作文中では、文体を常体（～だ、～である）または敬体（～です、～ます）に統一して書きます。〈文章の下書き〉は全体的に敬体で書かれていますが、14行めの「載っていた」のみ常体で書かれています。
- 問三 15行めの「見れて」は「ら抜き言葉」で、正しくは「見られて」となります。作文などの改まった文では「ら抜き言葉」は使わないように気をつけましょう。
- 問四 原稿用紙では、一文字を一マスに書くのが原則ですが、句読点が行の一番上にくる場合には、前の行の最後の文字と一緒に同じマスに書かなければなりません。
- 問五 「出会いがあります」の文は、書き出しが「なぜなら」と理由を示す言葉になっているため、文末に「～から」や「～ため」を使います。この〈文章の下書き〉は、文末が敬体で書かれているので、「出会いがある〔例〕からです」と書き直します。
- 問六 〈資料〉を読み取る際には、全体の傾向を見て特徴をつかむことが大切です。〈資料〉から、F中学校では〔例〕三分の一以上もの人が一か月に本を全く読まないことが読み取れます。
- 問七 二つのものごとを並列させて書く場合には、「〔例〕私たちに興味深い情報を与えてくれたり、私たちが感動させたりするなど～」というように、「たり」を二回使って書く必要があります。

問題番号	模範解答	配点
1	(1) -3 ○	2
	(2) $-x - 11y$ ○	2
	(3) -1	2
	(4) $x = 7$ ○	2
	(5) $a = c - 2b$ ○	2
	(6) $y = -4$ ○	2
	(7) 75°	2
	(8) $\frac{4}{9}$	2
	(9) 110 g 以上 120 g 未満	2
2	(1) $\frac{x}{4} + \frac{y}{5}$	2
	(2) 下記参照 ★	4
3	(1) イ ○	2
	X $V = \frac{2}{3} \pi r^3$	2
	(2) Y $W = \frac{32}{3} \pi r^3$	2
	★ Z $V = \frac{1}{16} W$	1

問題番号	模範解答	配点	
4	(1) 1180 ○	2	
	(2) 2930 円	2	
	★ (3)	ア (340, 8300)	1
		イ $y = 28x - 1220$	1
		ウ (120, 3470)	1
		エ $y = 21x + 950$	1
		オ $x = 310, y = 7460$ [両解]	1
		カ 310 kWh	1
5	★ (1)	ア DE = BE	1
		イ $\angle DEF = \angle BEG$	1
		ウ $\angle EDF = \angle EBG$	1
		エ 1組の辺とその両端の角がそれぞれ等しい	2
	(2) EF = EG	2	
(3) 5 : 11 ☆	3		
6	(1) 辺 CD または 辺 DC ○	3	
	(2) 60°	3	
	(3) 14 cm^3 ☆	3	
60 点満点			

※同じ値を表す分数や小数は正解とします。

2(2)

(解答) A地域で清掃活動を行う班の数を x 班, B地域で清掃活動を行う班の数を y 班とすると,

$$\begin{cases} x + y = 8 \\ 4x + 5y = 35 \end{cases}$$

これを解いて, $x = 5, y = 3$
 これは問題にあう。
 A地域で清掃活動を行う生徒の人数は,
 $4 \times 5 = 20$
 B地域で清掃活動を行う生徒の人数は,
 $5 \times 3 = 15$
 答 A地域で清掃活動を行う生徒の人数は 20 人,
 B地域で清掃活動を行う生徒の人数は 15 人

[マークの説明]

- …… 基本事項の理解を確かめる問題です。
- ☆ …… 総合的な思考力を確かめるための, やや難しい問題です。
- ★ …… 県入試の傾向を踏まえた, 論述力を強化する問題です。

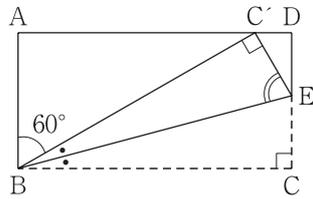
1 各領域の小問題

- (1) $-15 - 2 \times (-6) = -15 + 12 = -3$
- (2) $3(x+7y) - 4(x+8y) = 3x + 21y - 4x - 32y$
 $= 3x - 4x + 21y - 32y$
 $= -x - 11y$
- (3) $x = -9, y = -5$ を $\frac{1}{54}x^2 + \frac{1}{2}y$ に代入して,
 $\frac{1}{54} \times (-9)^2 + \frac{1}{2} \times (-5) = \frac{3}{2} - \frac{5}{2}$
 $= -1$
- (4) $-3x + 5 = -(5x - 1) + 18$
 $-3x + 5 = -5x + 1 + 18$
 $2x = 14 \Rightarrow x = 7$
- (5) $7a + 2b = 6a + c$
 $7a - 6a = c - 2b \Rightarrow a = c - 2b$
- (6) y が x に反比例するとき, $y = \frac{a}{x}$ (a は比例定数) と表されます。

$x = 8$ のとき $y = 5$ より, $5 = \frac{a}{8} \Rightarrow a = 40$

$y = \frac{40}{x}$ に $x = -10$ を代入 $\Rightarrow y = \frac{40}{-10} = -4$

- (7) 長方形 ABCD



だから,

$\angle ABC = 90^\circ$

$\angle BCD = 90^\circ$

折り返した角は等

しいので, $\angle C'BE = \angle CBE$

$\angle BC'E = \angle BCE = 90^\circ$

$\angle ABC' = 60^\circ$ より,

$\angle C'BE = \frac{\angle ABC - \angle ABC'}{2} = 15^\circ$

$\triangle BEC'$ で, 三角形の内角の和は 180° より,

$\angle BEC' = 180^\circ - (\angle BC'E + \angle C'BE) = 75^\circ$

- (8) 2つのさいころ A,

<出る目の数の積>

Bの目の出かたは全部で36通りです。

このうち, 出る目の数の積が8以下にな

るのは16通りです。

よって, 求める確率

は $\frac{16}{36} = \frac{4}{9}$ です。

	B	1	2	3	4	5	6
A	1	1	2	3	4	5	6
	2	2	4	6	8	10	12
	3	3	6	9	12	15	18
	4	4	8	12	16	20	24
	5	5	10	15	20	25	30
	6	6	12	18	24	30	36

- (9) 度数の合計は20個なので, 中央値はデータを小さい順に並べたときの中央の値(10番目と11番目の平均)です。よって, 中央値がふくまれる階級は **110 g 以上 120 g 未満** です。

2 方程式の利用

- (1) 班の数について考えます。A地域の人数は x 人で, 1班あたりの人数は4人なので, 班の数は (A地域の人数) \div (A地域の1班あたりの人数) より, $\frac{x}{4}$ 班です。同様に, B地域の人数は y 人で, 1班あたりの人数は5人なので, 班の数は (B地域の人数) \div (B地域の1班あたりの人数) より, $\frac{y}{5}$ 班です。

紗英	A地域	B地域	合計
生徒の人数(人)	x	y	35
班の数(班)	$\frac{x}{4}$	$\frac{y}{5}$	8

表より, $\begin{cases} x + y = 35 \\ \frac{x}{4} + \frac{y}{5} = 8 \end{cases}$

- (2) 人数について考えます。A地域の班の数は x 班で, 1班あたりの人数は4人なので, 人数は (A地域の1班あたりの人数) \times (A地域の班の数) より, $4x$ 人です。同様に, B地域の班の数は y 班で, 1班あたりの人数は5人なので, 人数は (B地域の1班あたりの人数) \times (B地域の班の数) より, $5y$ 人です。

悠太	A地域	B地域	合計
班の数(班)	x	y	8
生徒の人数(人)	$4x$	$5y$	35

表より, $\begin{cases} x + y = 8 \\ 4x + 5y = 35 \end{cases}$

これを解くと, $x = 5, y = 3$

よって, A地域で清掃活動を行う生徒の人数は $4 \times 5 = 20$ (人), B地域で清掃活動を行う生徒の人数は, $5 \times 3 = 15$ (人) です。

数学

③ 文字式の利用

(1) (図1の半球の表面積)

$$\begin{aligned} &= \left(\text{半径 } r \text{ cm の} \right. \\ &\quad \left. \text{円の面積} \right) + \frac{1}{2} \times \left(\text{半径 } r \text{ cm の} \right. \\ &\quad \left. \text{球の表面積} \right) \\ &= \pi r^2 + \frac{1}{2} \times 4\pi r^2 \\ &= \pi r^2 + 2\pi r^2 \\ &= 3\pi r^2 \quad \Rightarrow \quad \text{イ} \end{aligned}$$

(2) (半球の体積 V) $= \frac{1}{2} \times \frac{4}{3} \pi r^3 = \frac{2}{3} \pi r^3$

$$\text{(球の体積 } W) = \frac{4}{3} \pi \times (2r)^3 = \frac{32}{3} \pi r^3$$

半球の体積 V が球の体積 W の k 倍とすると、

(半球の体積 V) = (球の体積 W) $\times k$ より、

$$\frac{2}{3} \pi r^3 = \frac{32}{3} \pi r^3 \times k \quad \Rightarrow \quad k = \frac{1}{16} \quad \Rightarrow \quad V = \frac{1}{16} W$$

④ 関数の利用

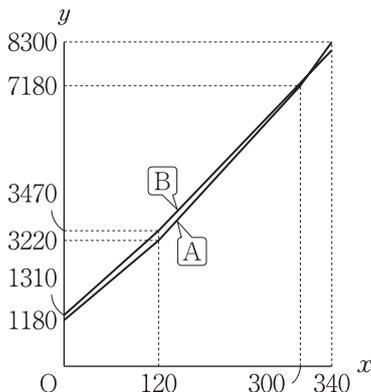
(1) Aプランの基本料金はグラフの $x=0$ のときの y の値です。よって、アは **1180** です。

(2) Bプランは、基本料金が1310円で、120 kWh までは1 kWhあたり18円かかるので、90 kWh のときの電気料金は

$$\text{(基本料金)} + \left(\begin{array}{l} 1 \text{ kWh あたり} \\ \text{の料金} \end{array} \right) \times \text{(電気の使用量)}$$

より、 $1310 + 18 \times 90 = \mathbf{2930}$ (円)

(3) 下の図は、AプランのグラフにBプランのグラフをかき加えたものです。



<Aプランについて>

$300 \leq x \leq 340$ において、グラフは2点

(300, 7180), (340, 8300) を通る直線なので、求める式を $y = ax + b$ として、2点の座標の値をそれぞれ代入すると、 $a = 28$, $b = -1220$

$$\Rightarrow y = 28x - 1220 \quad \dots \quad \text{①}$$

<Bプランについて>

電気の使用量が120 kWh のときの電気料金は $1310 + 18 \times 120 = 3470$ (円) です。

よって、 $x \geq 120$ において、グラフは傾きが21で、点(120, 3470)を通る直線になるので、求める式を $y = 21x + c$ として、座標の値を代入すると、 $c = 950 \Rightarrow y = 21x + 950 \quad \dots \quad \text{②}$

<Bプランの方がAプランより安くなるとき>

①, ②を連立方程式として解くと、

$$x = 310, \quad y = 7460$$

$300 \leq x \leq 340$ なので、これは問題にあいません。

よって、BプランがAプランより安くなるのは電気の使用量が **310 kWh** をこえたときからです。

⑤ 平面図形

(1)

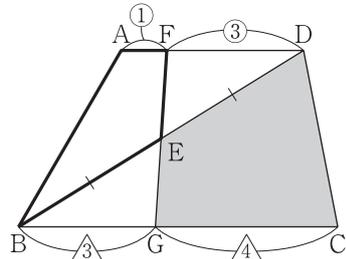
確認しよう!

☆ 三角形の合同の証明 ☆

- ・ 等しい角や辺を見つける
等しくなる理由も述べましょう
- ・ みつけた等しい角や辺から、三角形のどの合同条件が利用できるか考える
合同条件は正確に覚えましょう
- ・ 合同な関係を記号を用いて表す
合同の記号 \equiv を確認しましょう

(2) $\triangle DFE \equiv \triangle BGE$ より、合同な図形では、対応する線分の長さはそれぞれ等しいので、 $DF = BG$, $EF = EG$ です。

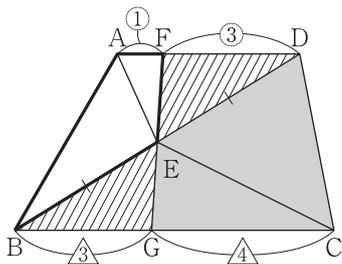
(3)



$$\left(\begin{array}{l} \text{四角形 ABGF} \\ \text{の面積} \end{array} \right) = \triangle ABD - \triangle DFE$$

$$\left(\begin{array}{l} \text{四角形 CDEG} \\ \text{の面積} \end{array} \right) = \triangle BCD - \triangle BGE$$

線分の長さの比からそれぞれの三角形の面積を求め、四角形 ABGF の面積と四角形 CDEG の面積を考えます。



<四角形 ABEF の面積>

A と E を結びます。

$$\triangle ABD = \triangle ABE + \triangle AEF + \triangle DFE$$

$$\triangle AEF = S \text{ とすると, } AF : FD = 1 : 3 \text{ より,}$$

$$\triangle DFE = 3S$$

$$BE = ED \text{ より,}$$

$$\triangle ABE = \triangle AED$$

$$= \triangle AEF + \triangle DFE = 4S$$

$$\text{よって, } \triangle ABD = 4S + S + 3S = 8S$$

$$(\text{四角形 ABEF の面積}) = \triangle ABD - \triangle DFE$$

$$= 8S - 3S = 5S$$

<四角形 CDEG の面積>

C と E を結びます。

$$\triangle BCD = \triangle BGE + \triangle CEG + \triangle CDE$$

$$\triangle DFE = \triangle BGE \text{ より, } \triangle DFE = \triangle BGE \text{ なので,}$$

$$\triangle BGE = \triangle DFE = 3S$$

$$BG : GC = 3 : 4 \text{ より, } \triangle CEG = 4S$$

$$BE = ED \text{ より,}$$

$$\triangle CDE = \triangle BCE$$

$$= \triangle BGE + \triangle CEG = 7S$$

$$\text{よって, } \triangle BCD = 3S + 4S + 7S = 14S$$

$$(\text{四角形 CDEG の面積}) = \triangle BCD - \triangle BGE$$

$$= 14S - 3S = 11S$$

<四角形 ABEF と四角形 CDEG の比を考える>

$$\left(\begin{array}{c} \text{四角形 ABEF} \\ \text{の面積} \end{array} \right) : \left(\begin{array}{c} \text{四角形 CDEG} \\ \text{の面積} \end{array} \right) = 5S : 11S$$

$$= 5 : 11$$

6 空間図形

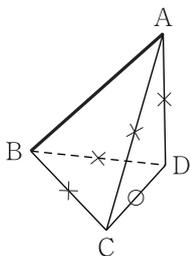
(1) 三角錐 ABCD において,

AB と交わっている辺は,

AC, AD, BC, BD です。

よって, AB とねじれの位

置にある辺は CD です。



(2) $AD = BD = CD = 6 \text{ cm}$

$$\angle ADB = \angle ADC$$

$$= \angle BDC = 90^\circ$$

よって, $\triangle ABD$ と $\triangle ACD$

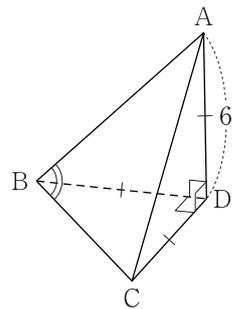
と $\triangle BCD$ は合同な直角二

等辺三角形です。合同な図

形では, 対応する線分の長

さはそれぞれ等しいので, $AB = AC = BC$ より,

$\triangle ABC$ は正三角形なので, $\angle ABC = 60^\circ$



(3) 5点 B, C, E, F, G

を頂点とする立体は右図

のような五面体 EBCGF

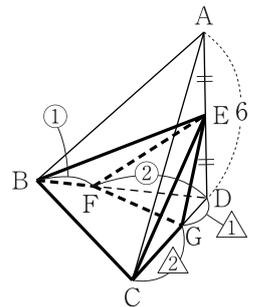
です。五面体 EBCGF の

体積は三角錐 EBCD の

体積から三角錐 EFGD

の体積をひくことで求め

ることができます。



<三角錐 EBCD の体積>

底面を $\triangle BCD$ とすると, 高さは ED です。

$$E \text{ は } AD \text{ の中点なので, } ED = \frac{1}{2} AD = 3 \text{ cm}$$

$$\left(\begin{array}{c} \text{三角錐 EBCD} \\ \text{の体積} \end{array} \right) = \frac{1}{3} \times \triangle BCD \times ED$$

$$= \frac{1}{3} \times \frac{1}{2} \times 6 \times 6 \times 3 = 18 \text{ (cm}^3\text{)}$$

<三角錐 EFGD の体積>

底面を $\triangle DFG$ とすると, 高さは ED です。

$$BF : FD = 1 : 2 \text{ より, } DF = \frac{2}{3} BD = 4 \text{ cm}$$

$$CG : GD = 2 : 1 \text{ より, } DG = \frac{1}{3} CD = 2 \text{ cm}$$

$$\left(\begin{array}{c} \text{三角錐 EFGD} \\ \text{の体積} \end{array} \right) = \frac{1}{3} \times \triangle DFG \times ED$$

$$= \frac{1}{3} \times \frac{1}{2} \times 4 \times 2 \times 3 = 4 \text{ (cm}^3\text{)}$$

<五面体 EBCGF の体積>

(五面体 EBCGF の体積)

$$= \left(\begin{array}{c} \text{三角錐 EBCD} \\ \text{の体積} \end{array} \right) - \left(\begin{array}{c} \text{三角錐 EFGD} \\ \text{の体積} \end{array} \right) = 14 \text{ (cm}^3\text{)}$$

確認しよう!

☆ 角錐の体積 ☆

$$(\text{角錐の体積}) = \frac{1}{3} \times (\text{底面積}) \times (\text{高さ})$$

問題番号		模範解答		配点
1	問題1	(1)	① ウ ◎	1
			② エ ◎	1
		(2)	① ウ	1
			② 写真(部)	1
	問題2	(1)	ウ	1
		(2)	イ	1
		(3)	エ	1
	問題3	(1)	長崎(県)	1
		(2)	Yes, do [両解]	2
		(3)	thirty	2
(4)		bought, bag [両解]	2	
問題4		[例] Yes, I was. / No, I wasn't. ★	2	
2	問1	(1)	ウ	1
		(2)	イ	1
		(3)	ア	1
	問2	(1)	イ	1
		(2)	Can [May]	1
		(3)	twelfth	1
	問3	(1)	week	1
		(2)	color	1
3	問1	(1)	ウ ◎	1
		(2)	イ ◎	1
	問2	(1)	doesn't, live [両解]	2
		(2)	We're, going [両解]	2
		(3)	What, time, leave [全解]	2
	問3	(1)	found	1
		(2)	Which, or [両解]	2
(3)		aren't, same [両解] ☆	2	

問題番号		模範解答		配点	
4	問1	(1)	イ, ウ [両解] ◎	1	
		(2)	エ, ア [両解]	1	
		(3)	イ, ア [両解]	1	
	問2	(1)	Who ◎	1	
		(2)	Whose books	2	
		(3)	[例] It won't rain / It won't be rainy ☆	2	
	問3		[例] I studied English. / I didn't study at home yesterday. ★	2	
	5	問1		ate	1
		問2		It was a very exciting ☆	2
		問3		Why	2
問4			[例] 折り紙で小さなこいのぼりを作る(こと)	2	
問5			エ	2	
問6		(1)	No, didn't [両解]	2	
	(2)	went, Sunday [両解] ☆	2		
60点満点					

※日本語記述については、同様の表現であれば正解とします。
 ※4問3については、大文字、小文字、つづりなどにミスがあるとき、1つにつき-1点(表示は△)とします。

代替問題の答え	
問題1	(1)①2 ②3 (2)①2 ②sport
問題2	(1)2 (2)1 (3)3
問題3	(1) watching [seeing] (2) swims, faster [両解] (3) along (4) anything, to [両解]
問題4	[例] I don't have to go to school today.

〔マークの説明〕

- ◎ …… 基本事項の理解を確かめる問題です。
- ☆ …… 総合的な思考力を確かめるための、やや難しい問題です。
- ★ …… 県入試の傾向を踏まえた、記述力を強化する問題です。

1 リスニングテスト

[読まれた英文]

問題1 (1) ① Does Taro have a racket in his hand?

- ア Yes, he is. イ No, he isn't.
ウ Yes, he does. エ No, he doesn't.

② What is Miku doing?

- ア She is eating lunch.
イ She is talking with Yui.
ウ She is drinking water.
エ She is reading a book.

(2) ① Fumiya is in the science club. When did he introduce his club?

- ア Last Tuesday.
イ Last Wednesday.
ウ Last Thursday.
エ Last Friday.

② Today is Sunday. Haruka is going to introduce her club tomorrow. What club is she in?

問題2 K = Kota E = Emma

(1) K : Hi, Emma. This is your notebook, right? Here you are.

E : Oh, thank you, Kota. I was looking for it. (チャイム)

K : On a chair in the school library.

- ア What is that?
イ Whose notebook is this?
ウ Where was it?
エ Which is yours?

(2) E : What are you doing, Kota?

K : I'm doing math homework. But this question is too difficult. Do you know the answer?

E : Umm I don't know. (チャイム)

K : That's a good idea! He is good at math.

- ア I'll teach you math.
イ Let's ask Takashi.
ウ It's the easiest question of all.
エ You can answer this question.

(3) K : Emma, why don't we go to that new fantasy movie tomorrow? I hear it's very exciting.

E : OK. But I don't know anything about that movie. (チャイム)

K : Sure. It's a movie about another world. In that world, animals can speak!

E : Sounds interesting!

- ア Can I see my favorite movie?
イ Do you want to know more about it?
ウ How about going to the museum?
エ Can you tell me more about it?

問題3 Last weekend, my brother and I visited our grandfather in Nagasaki.

My grandfather's house is near the sea. When we visit him, we often go fishing in the sea. It isn't easy, but my brother and I like it very much. Last Saturday we went fishing and had a lot of fun. My grandfather is good at fishing, and he got thirty fish that day! That evening, we ate some of them for dinner. They were so delicious.

The next day, we went to the zoo. There were some capybaras at the zoo and we touched them. At the zoo shop, my grandfather bought me a bag with a picture of capybaras on it. It's my favorite.

We had a great time on the weekend.

問題4 Were you watching TV at eight last night?

2 表現・語句

問1 (2) 「～のように見える」は〈 look + 形容詞 〉を使って表します。

ア「病気の」 イ「緊張して」 ウ「元気な」

問2 (1) A : おなかがすいています。レストランで昼食を食べましょう。

B : いいですね (よさそうですね)。

(2) A : あなたのコンピューターを使ってもよいですか。 / B : もちろん。

→ 「～してもよいですか。」と相手に許可を求めるときは、〈 Can [May] I ~? 〉を使います。

- (3) A : 1年で12番目の月は何ですか。
B : 12月です。

- 問3 (1) 「1週間は, 7日です。」
(2) 「私のお気に入りの色は黄色です。」

③ 文法事項の復習

- 問1 (1) 「あなたのお姉さんは昨日の午後, 学校にいましたか。」という意味の文です。主語が三人称単数で, **be動詞・過去**の疑問文なので, Was を選びます。

確認しよう!

☆ be動詞の過去形 ☆

- ・ am, is の過去形 → was
- ・ are の過去形 → were

- (2) 「私は昨夜, おばに手紙を書きました。」という意味の文です。**一般動詞・過去**の文なので, write の過去形 wrote を選びます。

- 問2 (1) 「私のおじは東京に住んでいます。」を「私のおじは東京に住んでいません。」という意味の文にします。主語が三人称単数で, **一般動詞・現在**の否定文なので doesn't を使います。lives は原形の live にします。

- (2) 「私たちは毎日公園でバスケットボールを練習します。」を「私たちは明日公園でバスケットボールを練習するつもり(予定)です。」という意味の文にします。**未来の予定**についていうときは, 〈 **be going to + 動詞の原形** 〉を使います。ここは () の数より, We are の短縮形 We're を使います。

確認しよう!

☆ 未来を表す表現① ☆

- ・ 「～するつもりです」とあらかじめ決めておいた予定や未来のことをいうときは, 〈 **be going to + 動詞の原形** 〉の形を使う。

〔例〕 I'm going to play tennis tomorrow.
「私は明日テニスをするつもりです。」

- ・ 疑問文: 主語の前に **be動詞** を置く。
- ・ 否定文: **be動詞** の後に **not** を置く。

- (3) 「ケ빈は昨日の朝8時に家を出ました。」を「ケ빈は昨日の朝, 何時に家を出ましたか。」という意味の疑問文にします。「何時に～」とたずねるときは, 〈 **What time ~?** 〉を使います。left は原形の leave にします。

確認しよう!

- When 「いつ」
- Where 「どこに(で)」
- Who 「だれが」
- Why 「なぜ」
- Whose 「だれの(もの)」
- Which 「どちら(の)」
- What 「何が(を)」
 - * **What time** 「何時に」
- How 「どのように, どうやって」
 - * **How many** 「いくつの」
 - * **How much** 「(値段が)いくら」
 - * **How long** 「どのくらい長く」

- 問3 (1) 「見つける」find の過去形は found
(2) 「AとBではどちらが～ですか。」とたずねるときは, 〈 **Which ~, A or B?** 〉を使います。
(3) 主語が複数で, **be動詞・現在**の否定文なので are not を使いますが, () の数より短縮形の aren't にします。「同じ」same

④ 英作文

- 問1 (1) (Where is Nancy from)?
(2) (How much is this) T-shirt?
(3) (Are you interested in traditional) Japanese culture?

→ 「～に興味がある」は 〈 be interested in ~ 〉で表します。主語が you で, **be動詞・現在**の疑問文なので, Are を you の前に置きます。

- 問2 (1) 「～はだれですか。」とたずねるときは, **Who** を使います。
(2) 「だれの～ですか。」と持ち主をたずねるときは, 〈 **Whose + (名詞) ~?** 〉を使います。主語 these が複数なので, book は books にすることに注意します。

英語

- (3) 「～でしょう」と**未来のこと**について推測するときは、〈 **will + 動詞の原形** 〉で表します。こゝは、否定文なので will not か、短縮形の won't にします。「雨が降る」は rain または be rainy を使って表します。

確認しよう!

☆ 未来を表す表現② ☆

- ・「～でしょう」、「～するつもりです」、「～しようと思います」と未来のことをいうときは、〈 **will + 動詞の原形** 〉の形を使う。

〔例〕 I will be busy next week.

「私は来週忙しいでしょう。」

- ・疑問文：主語の前に **will** を置く。
- ・否定文：**will** の後に **not** を置く。

- 問3 「あなたは昨日、家で何の教科を勉強しましたか。」という問いに英語で答えます。

5 対話文の読解

〔日本語訳〕 A = 綾香 T = トム

〈月曜日、教室で〉

A：おはよう、トム。

T：おはよう、綾香。週末を楽しみましたか。

A：ええ。昨日、佐賀の祖父を訪れました。私たちは有名なレストランで昼食を食べて、私の学校生活について話しました。あなたはどうかでしたか。

T：ほくも楽しい時間を過ごしました。土曜日に兄とあさひ球場で野球の試合を見ました。とてもわくわくする試合でした。

A：それはいいですね。

T：帰る途中で、おもしろいものを見ました。それらは大きな魚のようでした。空を泳いでいるように見えました。ほくはそれらの絵を描きました。これを見て。

A：ああ、これらはこいのぼりですね。

T：こいのぼり？

A：日本では、5月5日は「こどもの日」です。その日の前後でそれらを飾る人たちもいます。

T：おもしろいね。なぜそれらを飾るのですか。

A：ええと、英語でうまくその理由を説明できません。インターネットで調べましょう。

〈コンピュータールームで〉

A：トム、このウェブサイトを見て。「日本人は子どもたちが健康に成長するのを願っているの、こいのぼりを飾ります。」と書いてあります。

T：なるほど。そうだ、あなたには幼い弟がいますよね。こどもの日は、彼のために何かしますか。

A：ええ。毎年彼のために折り紙で小さなこいのぼりを作ります。

T：すてきですね。

問1 過去の文なので、過去形の ate にします。

問2 (It was a very exciting) game. → 主語が三人称単数で、**be動詞・過去**の文なので、was

問3 すぐ後で綾香は、こいのぼりを飾る理由を英語で説明できないと言っています。また、英文19～20行目で、こいのぼりを飾る理由を言っているので、こゝは、「なぜそれらを飾るのですか。」とたずねたと判断。理由をたずねるときは **Why**

問4 最後から2行目に着目します。

問5 ア 「綾香は × トムと佐賀の有名なレストランを訪れました。」

→ 英文4～5行目より、おじいさん

イ 「トムと彼のお兄さんはあさひ球場で × 野球をして楽しみました。」

→ 英文6～7行目より、野球の試合を見て

ウ 「× 綾香はトムのために学校でこいのぼりの絵を描きました。」

→ 英文11行目より、トムは

エ 「綾香とトムはこいのぼりについて学ぶために、インターネットを使いました。」

→ 英文17～20行目より、○

問6 (1) 「トムは野球の試合が始まる前にこいのぼりを見ましたか。」→ 英文9行目より、あさひ球場から家に帰る途中で見たので、No

(2) 「綾香はいつ佐賀に行きましたか。」

→ 英文1行目より、綾香とトムが話しているのは月曜日です。また、英文4行目で綾香は昨日おじいさんを訪ねたと言っているので、日曜日と判断します。go の過去形 went を使って答えます。